

現状と課題及び今後の方針

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実			
事業	①高齢者虐待防止			
R4達成度	5	4	3	(2) 1
現状と課題	(1)事業内容			
	養護者による高齢者虐待及び養介護施設従事者等による高齢者虐待の防止とその対応を行う。また、その充実に向けた連携・協力体制の整備を目的とし、高齢者福祉の関係機関等に対して、研修等による周知啓発を実施。			
	(2)実績			
	実績値	R3	R4	R5
	研修実施回数	1	1	
R5に向けた 今後の方針	参考:7期			
	実績値	H30	R1	R2
	研修実施回数	10	5	5
	(3)課題			
	関係機関や担当者によって虐待対応についての理解や認識に違いがあり、連携・協力体制の整備と対応の標準化が必要である。 令和4年度は、地域包括支援センター主催の研修会に助言者として一回参加した。			

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	②高齢者消費者被害防止(消費者見守りサポーター等の養成)				
R4達成度	5	4	3	②	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者の消費者被害に係る知識を備えた「消費者見守りサポーター」を養成し、地域の多様な主体との連携による地域の見守りネットワークを推進することにより、高齢者の消費者被害防止を図り消費者にとって安全・安心な地域づくりを行う。				
	(2)実績及び目標値 消費者見守りサポーター				
		R3	R4	R5	
	養成講座開催数(回)	13	14		
	養成数(人)	86	80		
	養成者数(延人数)	2,355	2,435		
	目標値(延人数)	3,000	3,500	4,000	
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	養成講座開催数(回)	22	35	11	
養成数(人)	158	588	84		
総数	1,597	2,185	2,269		
R5に向けた 今後の方針	(3)課題 講座を開催する講師の固定化、コロナ禍によるサポーター養成講座の開催数減少により、サポーター養成数が伸び悩んでいる。講師の講座開催機会の確保に向けた支援が必要である。				
	環境生活課と連携した消費者安全確保地域協議会の立上げにより、障がい福祉など新たな分野との連携によるサポーター数の増加、見守りネットワークの強化を図る。				

施策	尊厳ある暮らしのための支援と成年後見の充実				
事業	③成年後見制度利用支援事業(申立経費、成年後見人報酬の支援)				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 判断能力が不十分な認知症高齢者等に対し、所得の低い人でも成年後見制度を利用しやすくするために、申立てに関する支援や経費の助成、成年後見人等への報酬助成を行う。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	申立て費用助成件数	3	6		
	成年後見人等への報酬助成件数	3	0		
	参考:7期				
実績値	H30	R1	R2		
申立て費用助成件数	4	7		6	
成年後見人等への報酬助成件数	4	4		3	
R5に向けた 今後の方針	(3)課題 単身高齢者や身寄りのない高齢者の増加に伴い、成年後見制度の必要性が高まっており、あわせて制度利用の促進が期待される。				
	単身高齢者や身寄りのない高齢者の増加に伴い、権利擁護支援の必要性が高まっており、制度利用を推進するためにも本事業は継続していく。 置賜3市5町においても、令和4年度から権利擁護支援の中核的な役割を担う「置賜成年後見センター」を設置しており、今後更なる成年後見制度の利用促進を図っていく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	①要介護認定の適正化				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	個人委託を含めた保険者調査実施率の向上を図ると共に、委託調査票の全件点検を実施する。また、県主催の介護認定審査会委員及び認定調査員の研修を受講し、適正な要介護認定を実施していく。				
	(2)要介護認定調査実施数(件)				
		R3	R4		
	市 実 施	2,643	2,652		
	委 託	2,216	1,931		
	合 計	4,859	4,583		
	(2)実績 認定調査保険者実施率(%)				
		R3	R4	R5	
	実績値	54.4	57.9		
目標値	58	60	62		
参考:7期					
	H30	R1	R2		
認定調査保険者実施率(%)	54.5	50	63.5		
R5に向けた 今後の方針	(3)課題				
	認定調査保険者実施率向上に努めたが、目標値にはわずかに達することができなかった。また、事業所に所属していない中立な立場で調査を行うため、個人委託による認定調査を検討したが実施できなかった。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	②ケアプラン点検				
R4達成度	5	4	3	②	1
現状と課題	(1)事業内容				
	面接による点検や地域ケア会議における点検のほか、新規作成分の内容確認及び指導等により、自立支援に資するケアマネジメント・ケアプラン作成を支援する。				
	(2)実績				
	①面接によるケアプラン点検(件)				
		R3	R4	R5	
	実績値	36	32		
	目標値	60	65	70	
	②新規ケアプラン確認指導数(件)				
		R3	R4	R5	
	実績値	250	250		
目標値	330	330	330		
参考:7期					
	実績値	H30	R1	R2	
	面接によるケアプラン点検(件)	30	50	34	
	新規ケアプラン確認指導数(件)	468	424	354	
(3)課題					
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、予定していた面接によるケアプラン点検ができなかったため、実績が少なかった。また、国民健康保険団体連合会の介護給付実績を活用したケアプラン点検に着手したが、多職種による検証や議論まで行うことができなかった。新規作成分の確認については、提出されたケアプラン全件を確認し必要な指導等を実施した。					
R5に向けた今後の方針	面接によるケアプラン点検や新規作成のケアプラン点検について、引き続き取り組んでいく。介護給付実績を活用した居宅介護支援事業所単位で抽出するケアプラン検証(多職種参加の議論による検証)と、高齢者向け住まい等対策のケアプラン点検も実施していく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	③住宅改修等の点検				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 介護・介護予防給付の住宅改修を希望する者に、作業療法士等の専門職を住宅改修アドバイザーとして派遣し助言や指導を行い、高齢者にとってより自立支援につながる住みやすい住環境づくりを支援する。				
	(2)実績 ①住宅改修アドバイザー事業利用数(件)				
		R3	R4	R5	
	実績値	8	6		
	目標値	24	36	36	
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	住宅改修アドバイザー事業利用件数	2	9	14	
	(3)課題 事業の周知を図ってきたことにより、介護支援専門員から事業利用についての相談が増え、被保険者に対して利用を勧める機会も増えたが、着工までに時間を費やす等の理由から利用実績の伸びにはつながらなかった。				
R5に向けた今後の方針	住宅改修アドバイザー事業について引き続き周知を図っていくと共に、利用申請者に対しスムーズに専門職を派遣できるように事務を進めていく。				

施策	過不足のない介護給付の提供・支援				
事業	④医療情報との突合・縦覧点検				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 受給者の医療情報と介護保険の給付情報の突合や複数月にまたがる介護報酬の支払い状況を国民健康保険団体連合会からの情報に基づき点検し、医療と介護の重複請求や請求内容の誤り等を早期に発見し、事業所へ適正請求の指導を実施した。				
	(2)実績(件)				
	実績値	R3	R4	R5	
		56	47		
	参考:7期				
実績値	H30	R1	R2		
	65	41	62		
(3)課題	国民健康保険団体連合会から提供される縦覧点検結果や医療情報との突合結果を更に活用し、提供されたサービスの整合性の点検や請求内容の確認を行っていく必要がある。				
	今後も、受給者の後期高齢者医療や国民健康保険の医療情報との突合や介護報酬の支払状況の確認を行い、不適切な請求がないよう指導していく。				
R5に向けた今後の方針					

施策	過不足のない介護給付の提供・支援											
事業	⑤普及啓発事業											
R4達成度	⑤ 4 3 2 1											
現状と課題	(1)事業内容 令和4年11月2日、ケアマネジャーを対象として「適切なケアマネジメント手法の手引き」についての研修会を開催した。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>研修参加者</td><td>22人</td><td>56人</td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	研修参加者	22人	56人	
	実績値	R3	R4	R5								
	研修参加者	22人	56人									
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2					
実績値	H30	R1	R2									
(3)課題 ・前年度に実施した研修会は、11月8日開催でアンケート結果に「開催時期が遅い」との意見があったことから、夏頃の開催を目指し進めていた。しかし、コロナ感染が猛威をふるった時期に重なってしまったため、前年度と同様に開催時期になってしまった。 ・研修受講者に対するアンケートでは、9割以上の参加者から「満足」「やや満足」の回答を得ることができた。また、グループワークを通じて、普段はできないような事業所間のコミュニケーションが育まれたようであった。研修時間について、「やや長い」という回答があったため、次回以降の参考としていきたい。												
R5に向けた 今後の方針	令和5年度は、介護従事者向けに「介護技術研修会」開催を秋ごろに予定している。 研修の効果として、正しい介護技術を身に付けることにより介護事故のリスクや介護職員の身体的負担を減少させ、サービスの質とやりがいを向上させることで介護離職を防ぐことに繋いでいきたい。											

施策	過不足のない介護給付の提供・支援															
事業	⑥介護相談員派遣事業															
R4達成度	5 4 3 (2) 1															
現状と課題	(1)事業内容 介護サービス利用者の日常的な不平、不満、疑問を受け付け、問題の発見や提起、解決策の提案などを通じて、苦情が発生するようなことを未然に防ぎ、介護サービスの質の向上を図る。															
	(2)実績及び目標値 介護相談員の介護サービス事業所への派遣数(回)															
	<table><tr><td>介護サービス事業所への派遣数(回)</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>1</td><td>27</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td>720</td><td>740</td><td>740</td></tr></table>				介護サービス事業所への派遣数(回)	R3	R4	R5	派遣数(回)	1	27		目標値	720	740	740
	介護サービス事業所への派遣数(回)	R3	R4	R5												
	派遣数(回)	1	27													
目標値	720	740	740													
参考:7期																
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>派遣数(回)</td><td>680</td><td>651</td><td>0</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	派遣数(回)	680	651	0					
実績値	H30	R1	R2													
派遣数(回)	680	651	0													
R5に向けた今後の方針	(3)課題 コロナ禍による介護サービス事業所での面会制限を受け、利用者の話を聞く機会が得られなかった。オンラインによる相談についても設備の問題等により実施可能な事業所が少数であった。しかし、地域密着型の施設において、運営推進会議を対面で行っている事業者があったため、会議に介護相談員が参加できた。さらに、新たな試みとして、有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅へ訪問を実施。派遣回数は少なかったが、利用者の話を直接伺えたことについては評価できる。															
	5類感染症への移行に伴い、再度事業所に受入れに関する意向確認を行い、訪問可能な事業所の拡大を図る。また、オンライン相談による開催を継続するとともに、実施事業所の拡大を図る。															

施策	家族介護者への支援				
事業	①家族介護者交流支援事業				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容				
	在宅で高齢者の介護をしている家族を、介護から一時的に解放し、相互交流を図る機会を提供する。対象者は、要介護3、4、5の人又は認知症高齢者（日常生活自立度Ⅲ、Ⅳ及びM）を現に在宅で介護している人。日帰り交流会と宿泊交流会を開催している。				
	令和2年度、3年度については、新型コロナウイルス感染予防のため、交流会は実施せず、上記対象世帯に対して、介護のパンフレットを送付し、介護知識の周知啓発を図った。				
	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、宿泊交流会は実施せず、日帰り交流会を2回実施した。				
	(2)実績				
	実績値	R3	R4	R5	
	交流会参加者数	未実施	15		
	参考：7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	交流会参加者数	52	42	未実施	
	(3)課題				
	参加者はリピーターが多く、複数回参加される方もいるが、新規の参加者が少ないため実参加者数は増えていない。				
	対象者が広く参加できるように周知を図るとともに、事業内容の充実について検討していく必要がある。				
R5に向けた今後の方針	在宅で介護している方が心身のリフレッシュと相互交流できる場を提供することに主眼を置き、日々の介護にも役立つ情報を提供できるよう充実を図っていく。				

施策	家族介護者への支援											
事業	②徘徊高齢者等支援事業(事前登録制度「かえっぺ」)											
R4達成度	5 4 (3) 2 1											
現状と課題	(1)事業内容											
	徘徊により行方不明の恐れのある認知症高齢者等の情報を関係機関で共有し、行方不明時の早期に発見による当該徘徊高齢者等の安全の確保及び、その家族への支援を図る。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>延べ登録者数</td><td>194</td><td>228</td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	延べ登録者数	194	228	
	実績値	R3	R4	R5								
延べ登録者数	194	228										
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>延べ登録者数</td><td>105</td><td>145</td><td>170</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	延べ登録者数	105	145	170	
実績値	H30	R1	R2									
延べ登録者数	105	145	170									
R5に向けた今後の方針	(3)課題											
	新規登録者は毎年30人前後で推移している。行方不明時の早期発見・保護に寄与するためQRコードシールを導入したが、QRコードを活用した保護事例がないため事業の周知拡大の必要がある。											

施策	地域包括支援センターの機能強化																								
事業	地域包括支援センター運営事業																								
R4達成度	5	4	③	2	1																				
現状と課題	(1)事業内容 高齢者等が住み慣れた地域で安心して尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、高齢者等の地域住民の総合相談、権利擁護や地域の支援体制づくり、介護予防に必要な援助等を通じ、地域包括ケアの推進を図る。																								
	(2)実績																								
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>10,265</td><td>10,370</td><td></td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>257</td><td>283</td><td></td></tr><tr><td>介護支援専門員に対する個別支援</td><td>307</td><td>296</td><td></td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>2,968</td><td>3,024</td><td></td></tr></table>					実績値	R3	R4	R5	総合相談件数	10,265	10,370		権利擁護に関する相談件数	257	283		介護支援専門員に対する個別支援	307	296		予防給付ケアプラン作成数	2,968	3,024	
	実績値	R3	R4	R5																					
	総合相談件数	10,265	10,370																						
	権利擁護に関する相談件数	257	283																						
	介護支援専門員に対する個別支援	307	296																						
	予防給付ケアプラン作成数	2,968	3,024																						
	参考：7期																								
	<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>総合相談件数</td><td>8,160</td><td>9,340</td><td>9,791</td></tr><tr><td>権利擁護に関する相談件数</td><td>280</td><td>268</td><td>250</td></tr><tr><td>介護支援専門員に対する個別支援</td><td>344</td><td>314</td><td>234</td></tr><tr><td>予防給付ケアプラン作成数</td><td>1,663</td><td>2,110</td><td>2,401</td></tr></table>					実績値	H30	R1	R2	総合相談件数	8,160	9,340	9,791	権利擁護に関する相談件数	280	268	250	介護支援専門員に対する個別支援	344	314	234	予防給付ケアプラン作成数	1,663	2,110	2,401
実績値	H30	R1	R2																						
総合相談件数	8,160	9,340	9,791																						
権利擁護に関する相談件数	280	268	250																						
介護支援専門員に対する個別支援	344	314	234																						
予防給付ケアプラン作成数	1,663	2,110	2,401																						
(3)課題																									
地域住民や関係機関等からの相談件数の増加及び相談内容の複雑多様化により、広範囲な知識や専門性が求められ、職員の対応力の向上と関係機関との連携体制構築を推進する必要がある。																									
また予防給付ケアプラン作成数が増加していることから発生の予防、状態の維持・改善、悪化の遅延を図るために、高齢者の自立を目指した支援を実施する。																									
R5に向けた 今後の方針	複雑多様な相談及び複合的課題を有する世帯へ対応するために関係機関との情報共有、連携体制の強化に努め、課題の解決につなげる。 また従来の業務であるアウトリーチを活用しつつ、地域の実情の把握に努め、高齢者の自立を目指した支援を継続する。																								

施策	利用者負担の軽減				
事業	①米沢市介護保険居宅サービス等利用者負担額助成事業				
R4達成度	5 4 ③ 2 1				
現状と課題	(1)事業内容 介護保険居宅サービスの利用者負担が困難な利用者に対して、自己負担分の一部を市が助成する。広報や介護支援専門員を通じて周知し、申請者は市へ領収書の添付された申請書を提出する。				
	(2)実績				
	実績値				
	R3				
	R4				
	R5				
	助成件数				713
	支給額				2,487,102
	参考:7期				
	実績値				
H30					
R1					
R2					
助成件数				635	
支給額				2,173,493	
2,081,291				2,896,447	
(3)課題 毎月同一者が申請することが多いが、 広報での周知や介護認定更新申請案内送付時に事業内容を周知している 。今後も、低所得者が助成を受けることで必要なサービスを利用し、重度になっても住み慣れた自宅での生活が続けられるよう支援する必要がある。					
R5に向けた 今後の方針	今後も、助成対象者が申請できるように事業内容の周知を図り、必要な人が助成を受けられ、要介護認定者が住み慣れた環境で暮らし続けられるよう支援していく。				

施策	利用者負担の軽減															
事業	②社会福祉法人等による利用者負担額軽減制度															
R4達成度	5	4	3	(2)	1											
現状と課題	(1)事業内容 介護保険サービスを提供する社会福祉法人が、生計が困難な低所得者の利用者負担額の一部を軽減する。対象者は、法人からの勧めで市へ申請し、「利用者負担軽減確認証」の交付を受け、利用者負担分と食費・居住費の1/4の軽減が図られる。															
	(2)実績															
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>社会福祉法人数</td><td>6</td><td>5</td><td></td></tr><tr><td>確認証交付件数</td><td>9</td><td>5</td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5	社会福祉法人数	6	5		確認証交付件数	9	5	
	実績値	R3	R4	R5												
	社会福祉法人数	6	5													
	確認証交付件数	9	5													
	参考:7期															
	<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td>社会福祉法人数</td><td>3</td><td>5</td><td>5</td></tr><tr><td>確認証交付件数</td><td>9</td><td>11</td><td>11</td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2	社会福祉法人数	3	5	5	確認証交付件数	9	11	11
	実績値	H30	R1	R2												
	社会福祉法人数	3	5	5												
確認証交付件数	9	11	11													
(3)課題																
取り組む法人数は減少しており、全ての法人の実施には至っていない。新規の申請者数が増えておらず、確認証の交付件数も減少している。低所得者がこの制度を知らずに利用できない状況もあり得る。																
R5に向けた今後の方針	社会福祉法人に対し、制度についての周知を図ると共に理解を求め、低所得者の利用負担が軽減されるように、事業実施の積極的な取り組みを働きかけていく。															

施策	生活支援サービスの充実				
事業	①生活支援体制整備事業(生活支援コーディネーターの配置)				
R4達成度	5	4	3	2	1
現状と課題	(1)事業内容 生活支援コーディネーターの配置、協議体の設置により支え合いによる活動を推進し、多様な主体による多様な生活支援提供体制の整備を推進する。				
	(2)実績				
	①生活支援コーディネーター配置数(人)				
		R3	R4	R5	
	配置数(実)	5	5		
	参考:7期				
		H30	R1	R2	
	配置数(実)	4	4	4	
	②生活支援コーディネーター訪問活動数(回)				
		R3	R4	R5	
訪問活動数	865	551			
参考:7期					
	H30	R1	R2		
訪問活動数	267	277	353		
③地域のお宝発表会の開催 R3:1回(コロナによりNCV放映のみ)、R4:1回 参加者102人 暮らしの中にある人と人とのつながり、自然な住民同士の支え合い(地域のお宝)を推進し、多くの住民が共有することで、それらを守り、増やし、受け継いでいくことを目指し、R3から開催。					
④パンフレット等の発行 H30:地域のお宝情報誌、R1:通いの場事例集、R2:通いの場事例集・生活お助けガイドブック、R3・R4:生活お助けガイドブックを発行し、地域の支え合いを共有した。					
(3)課題					
生活支援コーディネーターによる住民の活動継続支援、新規立ち上げ支援により、通いの場が継続・立上げされた。今後はより地域住民との協議・協力に基づいた住民主体の活動の創出が求められる。					
R5に向けた今後の方針	既に活動している住民主体の活動の支援・啓発とともに、活動意欲の高い住民とともに新たな活動創出に向けた勉強会を開催する。				

施策	生活支援サービスの充実				
事業	②高齢者労働能力活用事業(米沢市シルバー人材センターの運営支援)				
R4達成度	5	4	③	2	1
現状と課題	(1)事業内容 高齢者のライフスタイルに合わせた就業等の機会を提供するとともに、ボランティア活動等の社会参加を通じて、健康で生きがいのある生活の実現を目指す。				
	(2)実績(数値は各年度4月1日現在)				
	実績値	R3	R4	R5	
	会員数	383	371		
	参考:7期				
	実績値	H30	R1	R2	
	会員数	387	376	382	
	(3)課題 高齢者が個々に持つ多様な能力を活かし就労の機会を図るために、本事業が果たす役割は大きい。 また、社会の支え手となる人材を確保し、在宅高齢者の日常生活を支援することは、高齢社会を支える上で必要不可欠である。				
R5に向けた 今後の方針	今後ますます高齢化が進展する中で、稼働能力の発揮が可能な高齢者が地域の担い手となる意義は大きく、本事業におけるシルバー人材センターの果たす社会的役割は大きい。 シルバー人材センターが主体的に企画立案する事業等に対して、今後も積極的に支援していく。				

施策	地域共生社会の理念啓発・社会の構築				
事業					
R4達成度	5	4	3	(2)	1
現状と課題	(1)事業内容 制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」の関係を越え、住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が「丸ごと」つながることで、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会の実現を目指す。 そのため、複合化した問題や制度の狭間の問題に対して、全体を俯瞰して支援する福祉総合相談支援体制の構築に取り組んでいく。				
	(2)実績 他課と連携して対応した相談件数				
	実績値	R3	R4	R5	
	連携件数	12	13		
	参考：7期				
実績値	H30	R1	R2		
	(3)課題 福祉総合相談支援体制による随時適切な対応を実施しているものの、関係課による連携の取組み、体制に関する評価・共有がなされていない。				
R5に向けた今後の方針	庁内関係課による相談支援事例・対応の共有・検討の機会の創出とともに、外部の相談支援機関も交えた相互連携のための研修会の開催を検討する。				

施策	介護人材確保及び業務効率化の取組											
事業	研修会の開催、変更届等各種届出の簡素化											
R4達成度	5	4	(3)	2	1							
現状と課題	(1)事業内容 介護事業所から市へ提出する各種届出について、押印欄を削除したことにより電子メールに添付して提出することができるようになった。 研修会の開催については、P21のとおり。											
	(2)実績											
	<table><tr><td>実績値</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	R3	R4	R5				
	実績値	R3	R4	R5								
参考:7期												
<table><tr><td>実績値</td><td>H30</td><td>R1</td><td>R2</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				実績値	H30	R1	R2					
実績値	H30	R1	R2									
(3)課題 電子メールに添付して各種報告を行うことが定着してきている。 新任の管理者等は、電子メールに添付する方法を知らない場合があるため、引き続き周知を図っていく。												
R5に向けた 今後の方針	前年度に引き続き、介護事業所から市役所に提出する各種届出について、国では更なる文書削減を検討しているため、その情報に注視し、本市でも国に準拠した形で対応していく。また、提出する届出書及び添付書類について丁寧な説明を引き続き行っていく。											